平成31年1月26日、大阪府立高槻支援学校のおとんの会座談会を訪問しました。通常20名～30名程度集まるのですが、今回はインフルエンザの影響や、前日にも別の会合があり、参加者は9名でしたが、内容はとても濃いものとなっていました。

**教育コミュニティづくり通信**

**平成31年 1月31日**

**おとんの会とは…**

『おとんの会』とは、PTAとは別に、高槻支援学校に通う児童・生徒のお父さんが集まって、子どもたちのためにできることをしようという集まりです。最初は、お母さんに自分の時間を作ってもらおうという思いから、子どもたちをキャンプやバーベキューに連れて行ったりしていました。その後、思いを共有する機会を持とうということで、座談会として、勉強会を開く
ようになりました。そしてお母さんも参加
されるようになり、勉強会で講師の先生を
呼ぶなど、内容が発展してきました。それ
ぞれの経験や体験による感想や思い、講座、
本、ネットから学んだこと等、さまざまな角度から意見を出し合い、子どもたちへのより良い教育を追及しています。
　おとんの会以外にも、お母さんたちによる『ひまわりの会』もあり、地域の方々とも協力して音楽会や防災に関する活動なども行っています。

**活発な交流**

障がいのある子どもをもつ親として、様々な角度から、多様な意見を出し合って思いを共有しました。

１．性について

子どもたちが性について正しく理解し、被害者にも加害者にもならないよう、”発達段階に応じて“家族と学校が役割分担の上で教えていくことが大切であるという意見や、教えることが必要なのかという意見など、様々な考えがだされていました。

2．兄弟・姉妹との関わりについて

　障がいのある子と障がいのない子をもつ親の難しさについて経験や体験をもとに意見を交流しました。そこでは、どう対応していくのがよいのか、どこに気を付けなければいけないのかなど、多くの意見が出されました。

３．高等部卒業後・学びの場について

　卒業後、すぐに仕事に就くことの難しさから、作業所などでの学びの場が必要であること、したいことや好きなことを見つけられるように支援する必要があることなど、自己肯定感を育てながら“どう生きていくか“につなげていくという意見が多く出されていました。

**参加者の感想**

・座談会で他のお父さんたちの経験や考えを聞くことで、良い刺激となる。

・視野が広がる。

・他の家庭の状況を聞くことで、客観的に自分の家庭

のことを振り返ることになる。